

うです。しかし、私たちの求める幸せの殆んどが「一切が無常」の対象となるものですから、頼る相手が動いていき、怨み節で人生を終わりがねません。時や処を超えても変わることなく、しっかりと人生の支えとなるのが仏教です。

二つ目は、世界の数ある宗教の中でも極めてすぐれたみ教えが仏教だといわれています。

お釈迦さまの覚られた真理は、縁起の道理（一切はみな、あい依りあい扶けあってつながりあっている）を始めとして、深く温かい教えであり、すべてのいのちを大切にすると和の宗教です。たえ間ない争乱や汚染で、生物だけでなく地球そのものの生命までが危ぶまれているいま、心ある人たちに仏教が改めて見直されています。

三つ目に、仏教は私の姿をありのままに教えてくださり、曲っている私たちのすがたのありようを直してくださる鏡だといわれています。中国の高僧